

学生エディターのキニナル「しごと」



分のイラストが貼り出されている様子を見たときは……
 — 感慨深かった？
 そうですね。私にとってイラストやデザインを描くということは、社会とのコミュニケーション手段なんです。「誰かの役に立つと良いな、元気や癒しになれば良いな」と思いながら日々描いています。なので、様々なイベントや商品に携わっている現状は、とても充実しています。
 — ところで、ちばしげさんは、東北のご出身と伺っています。北海道に住むようになったきっかけは？
 進学です。デザインを学ぼうと思ったのですが、地元はすごい田舎で……(笑)そんなときに札幌にある専門学校を見つけたんです。以来、こちらで暮らしています。
 — そんなちばしげさんが考える「札幌の魅力」って、何でしょうか？
 「丁度良い」ところでしょうか。都会的な便利さの中に、のどかさやあたたかさを感じます。生活をする上でも、仕事をする上でも良い環境だなと思います。様々な観光名所やイベントがあることで、適度に刺激を感じられるところもポイントが高いです。気に入ってしまっ、気が付けばずいぶん長く住んでいます(笑)

「FISHY・V・クリスマス市 in Sapporo」は大通り公園大通り西二丁目にて、12月25日まで開催中です！



近年はコンサドレ札幌のグッズなども手掛けています。「私の作風からすると、ちょっと意外ですね？」と笑顔。

— ちばしげさんから、札幌の皆さんに伝えたいことはありますか？
 光栄なことには、今年も「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」のメインアートを、担当させていただきました。今年は王道「The クリスマス」といったイメージに仕上がっています。皆様が童心に帰って、楽しいひとときを過ごしていただけると嬉しいです！

アルキタ学生エディター「キニナル」

日常にあふれる「キニナル」を学生目線で調査！ しごとや現場の魅力に迫る特集。

イラスト
で伝える
さまざま
なおもい

イラストレーター！
ちばしげさん

ちばしげさんがイラスト、デザインを担当した商品の数々。カラフルな色使いと、質感を感じさせる仕上がりになっているのが魅力。

札幌市では、季節を通じて様々なイベントが開催されています。そうしたイベントを楽しく盛り上げるのに欠かせないのが、メインアートやグッズ、そしてアイテムたち。今回はそれらを手がける札幌の人気イラストレーター「ちばしげ」さんにお話を伺いました。

— 本日はよろしくお願ひします。よろしくお願ひします。

— 早速ですが、ちばしげさんがこれまで手掛けたお仕事や制作物で、特に印象に残っているものはありますか？
 ひとつ目は「LINEスタンプ」です。初期のヒット作で、今でも「代表作」と認知されていますし、何より「広告イラスト」という仕事の面白さに気付かせてくれました。

— 広告イラストの面白さ、ですか？
 ふたつ目は「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」です。イラスト以外にも色々なものを制作させていただいたことで、自分の中の引き出しが増えました。何より、街中に自



漠然と「社会に関わっていくようなクリエイティブな仕事をしたいな」と思っていたんです。そんなときに、企業向けの販促用スタンプを制作する機会をいただいたことで、自身の方向性を定めることが出来ました。

— 海外では日本で体験できない「子どもの居場所づくり」に奔走したといえます。
 「あの頃、大人も子供も多くの人が外出を控える中、事情を理解できる大人はともかく、状況もわからない、でも有り余るパワーがある子どもたちにとって、それは辛いことでした。
 発散出来る場所の確保の為、思いつく限りの場所や人に交渉を重ね、外でたくさん体を動かしたり地域の中でのイベントも行いました」

あのイベントやグッズは、どんなヒトがつくっているのが「キニナル」



日向洋喜さん
E・LINK代表

夢にまっすぐ、誰もが地域のヒーローに。

「海外では日本で体験できない「子どもの居場所づくり」に奔走したといえます。」「あの頃、大人も子供も多くの人が外出を控える中、事情を理解できる大人はともかく、状況もわからない、でも有り余るパワーがある子どもたちにとって、それは辛いことでした。」「発散出来る場所の確保の為、思いつく限りの場所や人に交渉を重ね、外でたくさん体を動かしたり地域の中でのイベントも行いました」

「子どもたちと関わる方法は学校だけじゃない。僕は自分の経験で、自分なりのカタチで伝える方法を選びました。夢に向かう気持ちはまっすぐ。選ぶ道はまわり道。(笑) 僕らしいですね」

日向さんの言葉は、これから社会人となる私たち学生に勇気を与えてくれました。



Instagram

【NPO法人 E-link】 札幌市中央区南2条東2丁目7-3
 ビルセスクエア大通2

学生エディターのキニナル「活動」



学生時代に会った「あの人の今」がキニナル!



学生エディターのキニナル「現場」

【サツゲキ】 札幌市中央区南2条西5丁目
6-1 狸小路5丁目内



ホームページ



道内最後の砦として、遊び心で攻めていく。

学生エディターのキニナル「現場」、映画館「サツゲキ」。作品の装飾がいたるところにあり、映画愛に溢れています。札幌の芸術文化の場である映画館として、その想いやお仕事に関するお話を、支配人の横澤康彦さんに伺いました。

■サツゲキの成り立ちとは？
「2019年に老朽化により閉館したスガイビルに、サツゲキの前身となる『ディノスシネマズ札幌劇場』がありました。当初、後のことは何も決まっていなかったんですが、閉館を惜しむ多くのお客様の声を後押しされ、劇場の再開が決まったんです」
プラザ2・5（狸小路5丁目）に「サツゲキ」としてリニューアルオープンしました。



この記事の企画・取材・制作は
私たちが担当しました！

アルキド学生エディター キニナル

北海道大学環境科学院博士3年 藤井玲奈 / 北星学園大学経済学部3年 西村有葉
札幌市立大学デザイン学部3年 小川こひな / 札幌大学地域共創学群3年 敦賀公平

「中学二年生の時に札幌ドーム（現ノブリスドーム）で初めて聞いたGUCHYさん（DJ/タレント）のDJに衝撃を受けた」という山形さん。「スタジアムDJ」という仕事を知り、志した瞬間です。しかし当時、スタジアムDJについての知見はゼロ。山形さんは友人や先生に夢を公言し続け、大学では、学生主体のラジオ番組制作を経験します。卒業後は縁あって地元西区のコミュニティFMを運営する株式会社らむれすに入社。一年目で担当したクラブ応援番組「コンサドーレGO WEST!」をきっかけに、コンサドーレの大ファンになったそう。

「コンサドーレを応援すること
は自分が『素』になれる時間であり生きがい。番組や試合を通じて、様々な年代の仲間（サポーター）もできました」
その後も「いつか、スタジアムDJになりたい」という熱い想いを胸に、数々の仕事に取り組んできた山形さん。その精力的な仕事ぶりと長年の夢を知る関係者からのオファーを受け、今年ついにスタジアムDJデビューを果たしました。

「実はDJをした日のことをあまり覚えてないんですよ」
スタジアムDJは、選手登場時やスタメン発表時の煽りコメント、



スタジアムDJ・
山形翼さん

スタジアムDJ——声ひとつで、スポーツの試合会場に一体感を生み出す特別な存在。ですが、実際の仕事の様子は謎に包まれています。そんな『キニナル』を明らかにするため、北海道コンサドーレ札幌のスタジアムDJとして16年越しの夢を実現した山形翼さんにお話を伺いました。

■上映する作品にテーマはありますか？
サツゲキはジャンルを決めておらず、いろんなジャンル揃えて、お客様自身が見たい映画を決め

■サツゲキの装飾はどのようにして行なっていますか？
上映作品に興味を持ってもらうためにコーナーを作っています。うちで扱っているミニシアター系の作品は宣伝費がほとんどないので、映画の画像は配給さんからいただき、それを利用してスタッフのセンスで装飾しています。

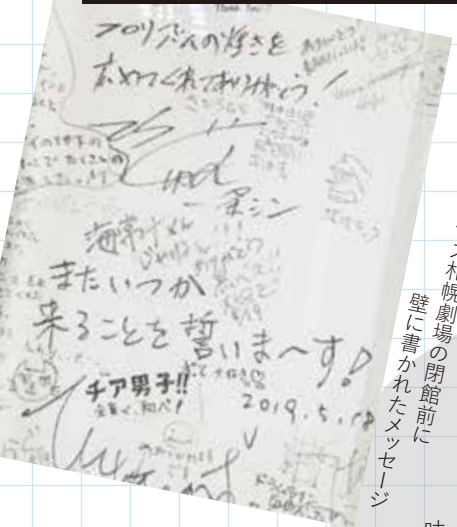


サツゲキ 支配人・横澤康彦さん

■カフェや劇場の注目ポイントは？
各シアターにはそれぞれ特色があります。1番シアターは赤を基調とした大スクリーン、4番シアターは高音質・高画質。2・3番シアターは、キャパは小さい（特に2番シアターは28席と、道内どのシアターよりも少ない）ながら、映像が浮き出たように見える珍しい造りのスクリーンや、スペースの広いカラフルな座席を配置するなど空間に気を遣った仕様になっています。各シアターの面白みをお客様自身で見つけてもらえるのが嬉しいですね。もうひとつ特徴

■カフエや劇場の注目ポイントは？
各シアターにはそれぞれ特色があります。1番シアターは赤を基調とした大スクリーン、4番シアターは高音質・高画質。2・3番シアターは、キャパは小さい（特に2番シアターは28席と、道内どのシアターよりも少ない）ながら、映像が浮き出たように見える珍しい造りのスクリーンや、スペースの広いカラフルな座席を配置するなど空間に気を遣った仕様になっています。各シアターの面白みをお客様自身で見つけてもらえるのが嬉しいですね。もうひとつ特徴

デザイン・シネマズ札幌劇場の閉館前に
壁に書かれたメッセージ

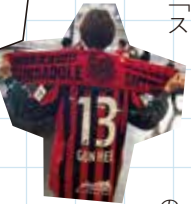


■札幌の映画ファンへのおもいを聞かせて下さい。
デジタル化したことで、作品数が増えており、道内でもサツゲキでしかやらない作品が多く存在します。うちがやらなければ道内未上映の作品が出てきてしまうものも多く、そういう意味では「隠れた名作」の最後の砦。取りこぼさないように組んで行きたいです。

■サツゲキならではのこだわりは？
応援上映や装飾など、「配給さんに怒られない程度に」盛り上げます（笑）。
「コーナー展開や応援上映などお客様に少しでも興味を持っていただくチャンスは自分たちで作る、攻めの接客をしていかなければなりません。お客様が一体となって空間を共有して楽しむ、というように映画の見せ方は変わってきています。」



■サツゲキならではのこだわりは？
応援上映や装飾など、「配給さんに怒られない程度に」盛り上げます（笑）。
「コーナー展開や応援上映などお客様に少しでも興味を持っていただくチャンスは自分たちで作る、攻めの接客をしていかなければなりません。お客様が一体となって空間を共有して楽しむ、というように映画の見せ方は変わってきています。」



スポーツの試合会場を盛り上げる「スタジアムDJ」の正体がキニナル！

札幌へ、

熱い情熱を 声にのせて。

「スタジアムDJもラジオパーソナリティも担当業務の中のほんの一部なんです。ラジオ『話す仕事』というイメージが強いと思いますが、その裏で支えるスタッフや細かな仕事があることも、ぜひ皆さんにも知っていただきたいです」
育った地元であり職場でもある札幌市西区に魅力を感じながら働く山形さん。
「ずっと暮らしてきたマチだからこそ、自分の視点を生かしながら仕事ができます。いつでも初心にかえることができるのも故郷で働く魅力のひとつです」
今日もマイクの向こうのあなたに、山形さんの熱いコールが届きます。



記念に1枚!コンサファン、西村大喜び



Instagram

学生エディターのキニナル「しごと」

